

取引先の販路 商談会で支援

岐阜信金

岐阜信用金庫と岐阜商工会議所は24日、取引先や会員企業の販路拡大を支援する「売り込みビジネス商談会」を岐阜市神田町の同会議所で開いた。写真。

今回で6回目の開催となり、バイヤーはドン・キホーテ、岐阜高島屋、47CL



UBなど17社。サプライヤーは県内の食品メーカーを中心に33社が集まり、101件の商談が行われた。

サプライヤー各社はケーキ類の洋菓子や、鮎のレトルト食品のほか、炭酸水が簡単に作れる器具などをバイヤーに売り込んだ。

富有柿の生産を手掛ける丸金青果(本巣市)の担当者「自社は県内最大級の柿生産者だが、(商談を通して)地元での知名度が低いことが分かった。低温熟成の柿に地元バイヤーから興味を持ってもらうことができ、新たな商圏が広がった」と手応えを話した。